

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	玄関の施錠は身体拘束に該当する項目であることを全職員が理解し、開錠できる工夫をしてほしい。	利用者様が、外に出たいという申し出があった場合、開錠する対応ができる環境づくりを目指す。	玄関ドア付近の中間ドアは鍵をかけていないため、利用者様が玄関まで行き来できるようにしている。	12ヶ月
2	35 (13)	非常事態に備え、自主訓練を重ねて、利用者職員が火災や地震、水害等の避難方法を身に付けてほしい。	火災・地震・水害の自主訓練を重ねる事で、災害時に全職員が対応できるようにする。	毎月1回は火災・地震・水害のいずれかを自主訓練として行なうようにしている。	6ヶ月
3	40 (15)	事前に献立を利用者の見やすいところに掲示して、食べる楽しみに繋げてほしい。	献立表を職員だけでなく利用者様にも書いてもらえるようにする。	利用者様の目に留まりそうな高さのキッチンカウンターにホワイトボードを設置し、朝・昼・夕の献立を提示すようにした。	6ヶ月
4	45 (17)	予定表にあがっていない人にも入浴できることの声掛けを行い、希望が出た人には支援してほしい。	予定にあがっていない方にも、気軽に声掛けを行なう。	入浴の予定に入っていない利用者様でも、気軽に声掛けを行なうようにしている。利用者様に決定権を持っていただける声掛けを行なっている。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。